

事業所内における自己評価結果(公表)

別紙3

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点
環境・体制整備		利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	運動がメインなので、広さや導線の工夫をしている。
		職員の配置数は適切である	90%	10%	0%	保育士、学校・幼稚園教諭、介護福祉士を配置し、厚生労働省の定める指定基準を遵守しています。
		生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	40%	60%	0%	設備面で改良すべき箇所もあるが、不可能なこともあり、負傷につながらないように気をつけている。
		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	消毒や清掃をきちんと行い、気持ちよく過ごせるようにしている。
業務改善		業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90%	10%	0%	日々の療育の中で支援者が気付いた点を共有し、次へ生かすようにしている。
		保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなけている	60%	40%	0%	保護者様からのアンケート結果を支援者に周知し、今年度の療育に生かす努力をしている。
		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	60%	40%	0%	手紙で、保護者にお伝えしながら、教室のありかたについて、支援者で話し合い更に質のよい療育を提供できるようにしている。
		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなけている	0%	0%	100%	今のところ行っていない。姉妹教室と共に検討。
		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	こどもプラス本部からの運動療育の配信や千葉県や大学等の研修参加。全員が参加できるよう努力する。
適切な支		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	半年に1度、保護者の方との面談を行い、計画書を提示させて頂き捺印のうえサインを頂いております。

援 の 提 供	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	90%	10%	0%	
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	90%	0%	0%	保護者の方とのお話の中で、達成度をお聞きしながら次の目標を立て、具体的な内容や保護者のご意向を踏まえた上で、支援者に周知しながら療育を行っている。
	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	
	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	運動に携わる支援者で、日々情報を発信し、活発化するよう意識している。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	月ごとにおおまかな、目標を立てながら毎回違う形でプログラムしている。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	子どもの状態について、情報を共有し把握するよう努めている。
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	90%	10%	0%	役割分担やその日の療育の流れ、目標などきちんと理解した上でやっている。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%	0%	子どもたちの把握や運動療育に於いて、全員が周知できるよう努める。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	個別支援の記録を行い、見返したり次の療育に生かすようにしている。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	モニタリングの時期をこちらで把握し早めに声がけさせていただいている。
関 係 保 者 と の 連 関 係 機 や	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	前年度、参加させていただいた。また、今年度も参加予定がある。
	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	90%	0%	0%	今後、考えていきたい。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域保健、医療、障害福祉、保育機関等と連携した支援を行っている	0%	0%	100%	今現在、利用者が在籍していませんが、地域に提携の医療機関がある。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	0%	個々の持病に関してアセスメントし、必要な対処方法や医療機関・主治医の情報を記載させていただき、発症時に対応させて頂く体制は整っている。
	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	60%	40%	0%	直接の関わりはないが、相談員さんや保護者の方を通して様子を伺うことはある。
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	60%	40%	0%	小学校の送迎の時に、話を伺う。
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	0%	担当者会議のときに、他事業所との意見交換が今後予定されている。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%	
保護者への説明責任等	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	0%	100%	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	60%	40%	0%	受け入れ時や降所時に、簡潔にお話をさせていただいたり、ノートでお伝えしている。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0%	0%	100%	
保護者への説明責任等	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に丁寧に説明させていただいている。又、その都度不明な点に於いては迅速に対応するよう努めている。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%	保護者に前回の計画書を提示しながら、次の目標を立て具体的な内容を話しながら、後日計画書にサインを頂いている。
	定期的に保護者からの子育てのみ等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	90%	10%	0%	連絡ノートや口頭、電話でのお問い合わせに対応するよう努めている。また、すぐに答えられない用件に於いては後日、連絡するように連携している。

	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%	100%	保護者様より様々な意見があるので、今のところ予定はありません。
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	20%	0%	内容によっては、経過を伴いながら答えが出てくることもあるので、長期的に見るよう丁寧な対応ができる体制を整えるよう努めている。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%	0%	避難訓練や運動内容の細かな説明など、毎日の療育をブログで発信させていただいている。
	個人情報の取扱いに十分注意している	80%	20%	0%	鍵付の書庫を完備したり、書類等は厳重に扱うように心掛けている。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	60%	40%	0%	ご質問やご相談があった場合に、姉妹教室やこどもプラス本部、又は関係機関からのお話を参考にさせていただき、色々な方向性を見出せるようにしている。
	事業所の行串に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	0%	100%	
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	90%	10%	0%	教室内で職員間で話合ったり、感染症の拡散を防ぐ為に保護者の方にお知らせさせていただき、手の消毒等を行っている。また、感染症にかかった場合において許可書をいただき職員間で注意を促している。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	60%	40%	0%	年に二回以上行い、ブログの載せている。また、避難時の引渡しリストの作成を保護者のかたにご協力いただき備えている。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	90%	10%	0%	契約時に必ず伺い、丁寧にアセスメントさせていただいている。どの職員が対応しても迅速かつ的確な判断ができるよう保護者のかたの許可を得た内容のものを、共通理解できるようにしている。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	おやつ提供があるが、いまのところ範囲内で食べているので問題なし。アレルギー対応者のご利用があった場合の想定の話合いは職員間おこなった。

ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	職員間で報告、対処方法など踏まえた上で閲覧できるようにしている。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	全員が受けられるように体制を整えたい。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	90%	10%	0%	契約時に身体拘束についての話はさせて頂いている。また、そのようなことがあった場合は保護者の方にお知らせしたり、そのようなことが起きないような環境の設定を心がけている。

事業所内の職員ひとりひとりに自己評価を実施し、取りまとめる中で、今後の教室への課題が見えてきました。個々に合わせた目標や課題提供を大切にしながら、こども達の目線に立ち成功体験をたくさんできるような運動を行っていきたいと思っております。保護者の方からの暖かいお言葉、助言を胸に前向きな姿勢で、子どもたちと向き合い成長を見守っていきたいと思っております。